

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成29年2月分)

平成29年4月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢
 - (1) 国家レベル
 - (2) エンティティ、特別区
- ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)
- イ スルプスカ共和国(RS)
2. 外政
 - (1) 多国間、国際・地域機構 (EU加盟プロセスを含む)
 - (2) 二国間関係
3. 経済
 - (1) 経済指標
 - (2) 経済政策、公共事業
 - (3) 経済協力
 - (4) 民間セクター

(注: 以下は、現地紙など公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●サラエボ警察、ズキッチSDA幹事長の身柄を拘束(17日)

17日、サラエボ・カントン警察は、サラエボ・カントン検察局の命令に基づき、国営企業における違法就職斡旋容疑で、ズキッチSDA幹事長の身柄を拘束した。20日、サラエボ県裁判所は、検察局の申請を受け、容疑者による証人への圧力、証拠隠滅及び逃亡等の恐れから、1ヶ月の拘留を許可した。

●ストラツ市選挙の実施(19日)

19日、ストラツ市において、昨年10月の投票が無効となった地方選挙(市長選及び市議

会議員選)の再選挙が実施され、投票は大きな問題が発生することなく終了した。

結果、市長選では、ボシュコビッチ候補(HDZ、クロアチア系)が約60%の投票で当選。市議会議員選では、HDZが約50%、「ストラツのためのイニシアティブ」(ボシュニャク系)が、約41%、残りは、その他諸クロアチア系政党となった。

なお、今回の再選挙では、ボシュニャク系有権者及び「ストラツのためのイニシアティブ」の支持者がボイコットするかどうか注目されていたが、ボイコットは行われず、投票率は75.56%となった。

●ボシュニャク系による、ICJ2007年判決見直し請求の決定(17日)

17日、イゼトベゴビッチ大統領評議会メンバー(ボシュニャク系)は、ボシュニャク系の有識者会合を開催し、BH紛争時の大量虐殺に関する2007年2月26日の国際司法裁判所(ICJ)判決(ボスニア対セルビア)に関して見直し請求を行うことを決定し、23日、2007年判決の際にBHの法定代理人であったソフティッチ弁護士によって、ICJに対して見直し請求の申立てが為された。

2007年のICJ判決は、1995年のスレブレニツァの虐殺に関してのみ、右を防止する義務を怠ったとしてセルビアの責任を認めているが、それ以外については、セルビアは加担も教唆もしておらず、直接的な責任は有さないとした。ICJは、見直し請求の最終期限を判決から10年間としており、同期間が2017年2月26日であったことから、ICJ判決を不服とするボシュニャク系は、見直し請求を行うことを決定した。

なお、本件請求をめぐっては、ボシュニャク系は、ソフティッチ弁護士のBH法定代理人としてのマンデートが引き続き有効であるとして同弁護士が見直し請求を行える旨主張する一方、セルビア系は、BH大統領評議会の決定を経ない限り、BH国家の決定とはなり得ない旨主張して意見が対立している。

ICJは、23日の見直し請求申立てを受けて、翌24日、BH大統領評議会メンバー3名に対し、同評議会としての見直し請求に関する立場を3月2日までに明確にするよう求める書簡を個別に送付した。

●SDA所属有力BH下院議員2名、議員クラブ脱会(4日)

4日、BH議会下院において、シェピッチSDA議員及びソコロビッチ議員がSDAの議員ク

ラブから脱会し、無所属議員として活動することを宣言した。SDAは、42名枠のBH下院において10名の議員を有しており、2名の脱会后8名でも議会内第一党。

(2)エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●スカカ・サラエボ新市長の就任(6日)

6日、サラエボ市議会は、スカカSDA議員(ボシュニャク系)を新市長に選出した。新市議会議長にはガブリッチSBB議員(ボシュニャク系)が選出された。スカカ新市長は、前副市長であり、SDAスタリグラード地区支部長を務めている。

イ スルブスカ共和国(RS)

●RS国民議会、「RSの日」をめぐる報告書を承認(9日)

9日、RS国民議会は、昨年9月25日に実施された「RSの日」をめぐる住民投票に関し、有権者の半分以上が賛成票を投じていることから、住民投票は有効であるとし、改めてRS住民投票実施委員会による公式報告書を承認した。本報告書は、昨年10月に、一度RS国民議会によって承認されたが、RS民族評議会の審議を経ずに官報で発表されたため、RS国民議会のボシュニャク系議員集団が、承認手続きに関するRS憲法違反として「民族の死活的利益(VNI)」を行使し、RS憲法裁判所の決定により、取り下げられた経緯がある。加えて、昨年12月には、BH憲法裁判所が、住民投票自体に対して、違憲判決を下している。

●RS国民議会、12項目からなる決議を採択(27日)

RS国民議会は、2月27日の臨時会合において、「変革のための同盟」(SDS・PDP・NDP、セルビア系)議員の棄権、祖国連合(ボシュニャク系)議員の途中退室の中、12項目からなる決議を採択した。その内容は、イゼトベコビッチ大統領評議会メンバー(ボシュニャク系)を始めとするICJ判決の見直しの関係者を憲法違反として刑事告発するべきとの項目の他、BH憲法裁判所における外国人判事の廃止やOHRの廃止まで幅広い。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●ストルテンベルグNATO事務総長のBH訪問(2日)

2日、ストルテンベルグNATO事務総長がBHを訪問し、大統領評議会、ズビズディッチ閣僚評議会議長、ペンデシュBH国防相、BH議会下院国防・安全保障委員会等と会談を行った。イバニッチ大統領評議会議長(セルビア系)との会談においては、「イ」議長は「大統領評議会及び主要政党間では「加盟のための行動計画(MAP)」の早期実行開始がBHの国益であるという意見の一致がある旨述べ、BH軍の近代化や国防資産のリスト作成になどの取り組みについて説明。これに対して「ス」事務総長は、NATOは西バルカン地域における緊張を緩和し、情勢悪化を防ぐために全力を尽くしていく旨を伝えた。

●欧州議会、「2016年BHの進捗に関する決議」を採択(15日)

15日、欧州議会は、クロアチアの欧州議会

議員の提案によって修正追加された「連邦化、地方分権化、及び全民族の平等」に関する内容を含んだ「2016年BHの進捗に関する決議」を採択した。同文言は、BHではクロアチア系政治家が目指している「第3エンティティ」につながるものとして、特にボシュニャク系政治家の間で問題視されている。

(2) 二国間関係

●ペトロフ・クロアチア議会議長のBH訪問(7～8日)

ペトロフ・クロアチア議会議長は、7～8日にBHを訪問し、BH大統領評議会及びズビズディッチ閣僚評議会議長他と会談を行った。会談では、経済、インフラ、貿易、農業等の各分野における二国間協力やBHのEU加盟プロセスに対するクロアチアの支援方針等が話し合われた。なお、ズビズディッチ閣僚評議会議長との会談後、ペトロフ議長が「クロアチアは、BH内の新たなエンティティの創設は支持しない」と述べたというBH閣僚評議会の報道発表について、ペトロフ議長が所属するクロアチアの政党MOSTが否定するという問題が生じた。

3. 経済

(1) 経済指標

●GDP成長率

BH統計局によると、16年第3四半期は、前年同期と比較して、実質GDP成長率は2.4%となった。

●鉱工業生産高

BH統計局の発表によると、17年1月の鉱

工業生産高は、16年12月と比較して、3.0%の減少。

●雇用／失業者数

BH統計局の発表によると、16年12月のBH全体の雇用者数は738,954人。同月の失業者数は510,022人で失業率は40.9%となった。

●平均給与

BH統計局の発表によると、16年10月のBHにおける平均給与(手取り)は853KM(約436ユーロ)となった。

●消費者物価指数

BH統計局の発表によると、17年1月の消費者物価指数は前月から増減なし。

●貿易額

BH統計局の発表によると、17年1月のBHの輸出額は7億2,200万KM(約3億6,900万ユーロ)、輸入額は10億1,000万KM(約5億1,700万ユーロ)となった。

・輸出相手国上位5ヵ国(貿易額、17年1月):

①ドイツ(1億2,250万KM/約6,270万ユーロ)、②クロアチア(8,700万KM/約4,450万ユーロ)、③イタリア(7,990万KM/約4,090万ユーロ)、④セルビア(6,050万KM/約3,090万ユーロ)、⑤スロベニア(5,680万KM/約2,960万ユーロ)参考:日本(4万3,000KM/約2万2,000ユーロ)

・輸入相手国上位5ヵ国(貿易額、17年1月):

①ドイツ(1億1,790万KM/約6,030万ユーロ)、②イタリア(1億950万KM/約6,030万ユーロ)、③クロアチア(9,780万KM/約5,000万ユーロ)、④セルビア(9,750万

KM/約4,990万ユーロ)、⑤中国(7,460万KM/約3,820万ユーロ) 参考:日本(526万9,000KM/約269万5,000ユーロ)
* 上記数値はいずれも原産国及び仕向国による算出。

●観光客数

BH統計局の発表によると、16年12月、BHにはのべ73,181人(うち日本からは112人)の観光客が訪れた(注:宿泊を伴った観光客の総計)。

(2)経済政策、公共事業

●EUによる自律的貿易措置(1日)

1日より、EUの自律的貿易措置が発効した。これにより、BHの生産者は、果物や野菜を含む特定の農産物に関し、関税及び量的制限の撤廃により、特権的にEUに輸出することが可能となった。

●2016年度の輸出高、前年比6%増(22日)

22日、BH対外貿易会議所は、2016年のBH貿易収支を発表。輸出高は約97億7,000万KM(約5,940億円)で前年比6%増、輸入高は約162億6000万KM(約9,890億円)で前年比5.58%増であると発表した。主要取引相手はEUで、その70.7%を占めている。

(3)経済協力

●BH財政評議会、燃料税の値上げに合意(22日)

22日付ボスニア・デイリー紙によると、BH財政評議会(国・エンティティ・カントンの財相、中央銀行総裁等で構成)は、高速道路「Vc(5

c)回廊」の建設に充てられる燃料及び燃料製品に対する消費税の値上げに合意した。これは、総額1億5,500万KM(約9,430億円)のIMFの拡大信用供与措置(EFF)における第二回ディスバースに向けた審査の一環として、達成せねばならない条件とされている。

(4)民間セクター

●中国、6億ユーロを投資してガツコ火力発電所の建設へ(25日)

25日付当地インターネット・ニュース・サイト「サラエボ・タイムズ」によると、本年末までに、ガツコ新火力発電所の建設が開始される予定。同建設資金は全て中国輸出入銀行による融資で賄われ、近日中に応札している3社のうちから落札者が決定する。工事総額は、5～6億ユーロ(約600～720億円)と見込まれ、工事にはおよそ1,000名が従事し、うち400名はRSから雇用される予定。

●クロアチア企業、ブレザ市に2,000万KMの投資を検討(3日)

3日付ボスニア・デイリー紙によると、クロアチアの自動車タイヤメーカーであるプルメ・グメ社(Prve Gume)は、BHのブレザ市に、バイオマス・コージェネレーション・プラント、ペレット生産ライン、タイヤ・リサイクル及び水耕栽培工場を建設することを検討中。投資見込総額は、2,000万KM(約12億2,000万円)。

(了)